

為家卿の墓は厭離庵の前畠の中にあり、此ゆゑに中院大納言と称す。

続後拾 小倉山陰の庵はむすべどもせく谷水のすまれやはする 為 家

夫 木 住ぞめし跡なかりせば小ぐら山いづくに老の身を隠さまし 同

定家身まかりて後三年の仏事さがの家にてし侍る時

けふといへば秋のさがる白露もさらにや人の袖ぬらすらん 入道前太政大臣

返 し

けふまでもうきは身にそふさがなれば三とせの露のかはくまぞなき 為 家

下冷泉宗家卿よりしるしを立られ石垣をしめて

中院入道殿（融覚）建治元年四月廿九日薨すと記されたり。

定家卿為家卿御父子の旧跡、此地に決せり、此等を証とすべし。